

五 四 三 二 一
 忠良有為の基たてん
 石段登る六十余
 一足ごとに踏みかため
 心を鍛え身を練りて
 白幡台の雪月花
 四季の折々常緑の
 平野にしるく輝くは
 高潔無垢の別天地
 石段登る六十余
 如何に学ばん習わん
 自然の示す巨人をば
 あ、此の山と此の川と
 日夕眺むる健男児
 奔流百里石をかみ
 巍に激しいや増しに
 勢加わる利根の水
 これ剛健のためしなり
 変わらぬ誠の鑑なる
 富士の高嶺の雄姿ぞ
 幾万代の後までも
 一千秋の雪積もりたる

校歌

作詞 寺田 彰司
 曲 旧制「高寮歌」
 「アムール川」



| 協力金納入のお願い | |
|------------------|--|
| 会員相互の親密提携を図り、 | 母校を後援することを目的とした同窓会事業を円滑に遂行できるよう皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。 |
| 同封の「協力金」振込みのお | 願いをご参考ください。 |
| 協力金の納入方法 | |

| | 24 | 23 | 23 | 22 | 21 | 20 | 16 | 15 | 9 | 7 | 6 | 5 | 3 | 2 | 目次 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|----|
| 会長挨拶 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和7年度総会報告 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和8年度総会案内 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 恩師を訪ねて | | | | | | | | | | | | | | | |
| 同窓会便り | | | | | | | | | | | | | | | |
| 母校の想い出 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 母校と私の人生 | | | | | | | | | | | | | | | |
| トピック (1)~(5) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 読者プレゼント (1)(2) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 進路状況 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属中学校 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部活動の主な成績 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定時制 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 編集後記 | | | | | | | | | | | | | | | |

ご挨拶



白幡同窓会長
関口 広行

白幡同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてござる活躍のこととお慶び申し上げます。平素は本会並びに母校である竜ヶ崎第一高等学校の充実発展のため深いご理解と温かいご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

本年4月5日、母校体育館で開催されました定期総会におきまして、小倉培夫前会長の後任として会長を務めさせていただくことになりました。もとより浅学非才、身に余る大役で母校と本会の歴史と伝統を鑑みますれば、文字どおり身の引き締まる思いであります。皆様のご支援をいただき、副会長をはじめとする役員とともに精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今回勇退されました小倉培夫氏には、長年のご貢献に敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

今年度の総会は、80名を超える招待学年の方々に出席していただき、これまでと同じように在校生の吹奏楽部による演奏と応援団及びチアリーダーからの熱いエールを受けた後で審議に入りました。

議事は順調に進み、提案したすべての議案についてご承認いただきました。ご承認いただきました事業計画に基づき、引き続き会報編集委員会、ホームページ運営委員会、白龍祭委員会、そして企画委員会の四委員会が今年度の事業を推進してまいります。これまで行つてきました事業が中心となります、昨年度新たに開催しました同窓生による講演会も継続事業として実施する予定です。

今年度最初の事業として、6月の白龍祭には、胸にR、背中に校歌をプリントしたポロシャツを身に纏った同窓会有志の皆さんが出店し、今年も好評を博しました。

また、母校後援活動の一つとして全国大会及び関東大会の壮行会に出席し、これら大会に出場する選手諸君に「奨励金」を贈呈いたしましたが、若い皆さんの活躍は私たち同窓生にとっては嬉しい限りです。

本会が校外幹事を新設し、組織を現在の形態としてから13年が経過いたしました。この間、コロナ禍により総会の開催が見送られることもありましたが、主に校外幹事の皆さんのご尽力により会報の充実やホームページの開設、新たな事業の実施など活発に活動を開してきました。

その一方で、昨今の物価高騰の影響を少なからず受け、財政面では繰越金及び基金残高合計はピーク時の6割弱となつており、今年度は基金の一部を取り崩しての予

7月には埼玉県立浦和高等学校同窓会を訪問しました。数年前に一般社団法人として組織を強化し、公益財団法人である獎学財団を併せ持つ同窓会組織の運営についてお話を伺いましたことは、当会の今後の組織のありようを検討する上で実に有意義なものでした。

また、今年度は同窓会名簿を発行することとしており、ご希望された皆様のお手元にお届けいたします。

さて、会長職をお引き受けしてから創立百周年記念誌「星霜百年白幡台」を読み始めています。千ページに及ぶそれは、企画から発行に至るまで5年もの歳月をかけ編纂されたもので、当時の編集委員の皆さんのが熱意とご苦労の賜物です。とりわけ興味深く読んだのは、校訓に関することでした。

その意味するところを昭和40年、長塚誠道教諭が次のように記しています。その言をお借りしてご紹介させていただく、「誠実」は、いつわりなくまめやかなこと、人のこころのまことであり、「剛健」は、心のつよくすこやかなかこ

とであり、男らしさという肉体的な強健をさすものではなく、心の強さ、正しさを示すものということがあります。

卒業生の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申上げます。平素より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本年度は附属中学校が設置されてから6年目を迎え、本校の中高一貫教育が一巡する節目の年となります。この6年間、私は新たな教育の形を模索し、生徒たちと共に歩んでもまいりました。特に、記念すべき附属中1期生に思いを馳せるとき、同時に私たちの胸に去来するのは、新型コロナウイルス感染症との苦しい闘いの記憶です。

彼らを迎えた令和2年度は、期せずして未曾有の事態と共に幕を開け、彼らの中学校生活はまさに「クイズコロナ」という言葉とともに、あるものでした。世界保健機関（WHO）がパンデミックの緊急事態終了を宣言するまでの約3年間、彼らは様々な制約の中で学校生活を送らざるを得ませんでした。行事や部活動が制限され、友人ととの交流も思うようにできない日々。しかし、そのような困難な状況下

龍一の中高一貫教育 の完成にあたつて



校長
大田恒 淳一

でも、彼らは粘り強く学び、成長を続けてくれました。高校の教育課程に進学し、ようやく活動の制限が緩和され、生徒らしく行事や部活動に熱中できるようになつたのも束の間、彼らは早くも大学進学という次の目標に向かつて、ひたむきに努力を重ねています。

感染症が5類に移行し、学校生活に制約がなくなつてから、はや2年。コロナ禍の後半には、「学習損失」という言葉が盛んに議論されました。休校措置などによつて失われた学習機会が、子どもたちの将来や社会に不利な影響を与えるのではないかという懸念です。しかし、本校の生徒は、周囲の心配が杞憂であつたかのように、例年以上の頑張りを見せてくれています。そして、コロナ禍の逆境をてこに教育現場に浸透したICTが、一人ひとりの個性に応じた深い学びを加速してくれています。

実は、「コロナ禍以降、生徒集団の動きが変わった」という話が教育関係者間で出ることがあります。多様な他者と適切な距離を保ち、豊かな人間関係を築いていくことは、社会で生きしていく上で必要不可欠なスキルであり、行事や部活動を通じて社会性を育むこともまた、学校教育に期待される役割です。生徒たちは、「みんな」の一員として安心感と楽しさを味わう段階から、上級生を支え下級生を思いやりながら、時に集団から半歩いき、自立した社会人に向けて段階へと、自立した社会人に向けて目に見えぬ段階を上つていきます。

ナ禍によつて、足踏みする状態があつたかもしません。しかし幸いなことに、本校には生徒たちが集団で活動し、経験を積む機会が豊富にあります。白龍祭、飛龍祭といつた学園祭をはじめ、修学旅行、野球応援、フィールドワーク、そして探究活動など、大小様々な行事が年間を通じて展開されます。複数の学年を対象とした任意参加の課外活動も数多く実施しています。さらに、少子化が進む現代において、チームスポーツの継続が困難になる学校も少なくない中、本校では現在、十分な部活動のレパートリーを用意することもできています。とりわけ附属中の設置により、6歳差の子どもたちが共生する環境にあることは、生徒一人ひとりの個性や成長のペースを包摂する意味で、たいへん恵まれた状況にあると言えます。

みなさまの知識・経験で

が盛んになつてきています。サイバーとリアルの境界がなくなる中上のような「経験損失」の影響をもが、今後は技術の力で最小化できるのかもしれません。これからも繰り返されるだろうディスプレイに負けない学びの実現に向け、学校としてもあくなき挑戦と探究の旅路を歩んでまいります。

令和七年度の白幡同窓会総会は、令和七年四月五日、改修された竜ヶ崎一高体育館で開催されました。恒例の応援団・チアリーダーによる校歌・応援歌斉唱で始まり、吹奏楽部の軽快な演奏が総会を盛り上げました。また、総会出席者プレゼント抽選では、校章入り白萩釉鎬湯呑みが当選者に贈られました。養花天の午後でしたが、百十九名の卒業生にお集まり頂き、盛会でした。総会次第は次のとおりです。

令和七年度の白幡同窓会総会は、令和七年四月五日、改修された龍ヶ崎一高体育館で開催されました。恒例の応援団・チアリーダーによる校歌・応援歌斉唱で始まり、吹奏楽部の軽快な演奏が総会を盛り上げました。また、総会出席者プレゼントの抽選では、校章入り白萩釉金湯呑みが当選者に贈られました。養花天の午後でしたが、百十九名の卒業生にお集まり頂き、盛会でした。総会次第は次のとおりです。

一 開会の言葉
二 校歌・応援歌斉唱
三 吹奏楽部の演奏披露
四 会長挨拶
五 校長挨拶
六 記念品贈呈
七 招待学年代表挨拶
八 総会出席者湯呑抽選及び贈呈
九 新任者紹介
十 議事
十一 報告
(一) 令和六度事業報告・決算
(二) 令和六年度会計監査報告
(三) 役員改選
(四) 新会長挨拶
(五) 令和七年度事業計画案・予算案
(六) 学校現況報告
十一 閉会の言葉

令和6年度 白幡同窓会収支決算書

収入総額 6,389,268円
 支出総額 5,765,743円
 差引残額 623,525円(次年度へ繰越)

(収入の部)

(単位:円)

| 科 目 | 本年度 予算額 | 本年度 決算額 | 比 較 | | 摘要 |
|-------|------------|------------|--------|--------|--|
| | | | 増 | 減 | |
| 1 繰越金 | 2,116,507 | 2,116,507 | | | 令和5年度より繰越 会計用 2,116,507円 常陽銀行(普) |
| 2 入会金 | 1,404,000 | 1,434,000 | 30,000 | | 全日制 6,000円×234名=1,404,000円 定時制 6,000円×(3+2)名=30,000円 |
| 3 協力金 | 2,800,000 | 2,787,000 | | 13,000 | ゆうちょ銀行扱い分 362件 837,000円 コンビニエンスストア入金分 975件 1,950,000円 |
| 4 雑収入 | | 493 | 51,761 | 51,268 | 普通預金利息 561円 名簿売上げ 4,500円 記念品 2,000円 寄付金 1,000円 ボロシャツ売上 43,700円 |
| 合 計 | 6,321,000 | 6,389,268 | | 68,268 | |

(支出の部)

| 科 目 | 本年度 予算額 | 本年度 決算額 | 比 較 | | 摘要 |
|------------|------------|------------|---------|-----------|---|
| | | | 増 | 減 | |
| 1 事務費 | 950,000 | 831,623 | | 118,377 | |
| 1 消耗品費 | 50,000 | 11,417 | | 38,583 | 白龍祭参加企画費 |
| 2 支払手数料 | 300,000 | 264,532 | | 35,468 | 郵便局支払手数料 64,882円 サラト扱い手数料 199,650円 |
| 3 印刷通信費 | 450,000 | 432,074 | | 17,926 | 同窓会通信切手、葉書代 |
| 4 広報費 | 50,000 | 6,600 | | 43,400 | ホームページ用運用諸費 |
| 5 旅費交通費 | 100,000 | 117,000 | 17,000 | | 役員会・委員会交通費 |
| 2 事業費 | 4,750,000 | 4,714,728 | | 35,272 | |
| 1 総会費 | 100,000 | 35,530 | | 64,470 | 総会出席者用バッグ、 総会経費補助 |
| 2 会報発行費 | 2,900,000 | 3,421,763 | 521,763 | | 会報36号印刷代 (886,380円)、 会報郵送代 (2,525,858円) |
| 3 会議費 | 150,000 | 48,815 | | 101,185 | 役員会等経費 |
| 4 招待学年記念品費 | 0 | 0 | | | |
| 5 卒業記念品費 | 200,000 | 209,300 | 9,300 | | 卒業証書ファイル購入代 |
| 6 部活動奨励金等 | 900,000 | 795,000 | | 105,000 | ※ 20,000円 +5,000円 × 出場人数(10万円限度) 総会協力 (吹奏楽、応援団) 関東(射撃、陸上競技、 吹奏楽、軽音楽、水泳、 柔道、スキーや放送) 全国(書道、射撃、サ イエンス、放送、スキーや放送) |
| 7 学校行事補助 | 300,000 | 4,320 | | 295,680 | SSH関連事業経費 |
| 8 国際交流基金 | 200,000 | 200,000 | | | 国際交流基金 |
| 3 慶弔費 | 50,000 | 33,000 | | 17,000 | 葬儀生花 |
| 4 基金積立金 | 500,000 | 0 | | 500,000 | |
| 5 予備費 | 71,000 | 186,392 | 115,392 | | 手土産代、持丸修一監督講演会経費、卒業学年懇親会補助 |
| 合 計 | 6,321,000 | 5,765,743 | | △ 555,257 | |

科目間の流用を認める

基金積立金(常陽銀行) 6年度末積立額 6,003,715円
 合 計 6,003,715円

上記のとおり報告いたします。

決算報告日 令和7年3月16日

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 白幡同窓会会長 小倉 培夫

令和7年度 白幡同窓会予算書(案)

収入総額 5,924,000円
 支出総額 5,924,000円

(収入の部)

(単位:円)

| 科 目 | 本年度 予算額 | 前年度 予算額 | 比 較 | | 摘要 |
|---------|------------|------------|-----------|-----------|---|
| | | | 増 | 減 | |
| 1 繰越金 | 623,525 | 2,116,507 | | 1,492,982 | 令和6年度より繰越 内訳 会計用 623,525円 常陽銀行(普) |
| 2 入会金 | 1,500,000 | 1,404,000 | 96,000 | | 全日制 6,000円×238名=1,428,000円 定時制 6,000円×(9+3)名=72,000円 |
| 3 協力金 | 2,800,000 | 2,800,000 | | | 協力金 2,000円×1,400名=2,800,000円 |
| 4 基金販売額 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | | |
| 5 雑収入 | 475 | 493 | | | 預金利息等 |
| 合 計 | 5,924,000 | 6,321,000 | | △ 397,000 | |

(支出の部)

| 科 目 | 本年度 予算額 | 前年度 予算額 | 比 較 | | 摘要 |
|------------|------------|------------|---------|-----------|--------------------------|
| | | | 増 | 減 | |
| 1 事務費 | 920,000 | 950,000 | | 30,000 | |
| 1 消耗品費 | 30,000 | 50,000 | | 20,000 | 事務用品、定期 残高証明書代 |
| 2 支払手数料 | 300,000 | 300,000 | | | 協力金振込手数料 |
| 3 印刷通信費 | 450,000 | 450,000 | | | 切手・葉書購入、 印刷代等 |
| 4 広報費 | 20,000 | 50,000 | | 30,000 | ホームページ用 運用諸費 |
| 5 旅費交通費 | 120,000 | 100,000 | 20,000 | | 役員会交通費等 |
| 2 事業費 | 4,870,000 | 4,750,000 | 120,000 | | |
| 1 総会費 | 50,000 | 100,000 | | 50,000 | 総会経費補助 |
| 2 会報発行費 | 3,500,000 | 2,900,000 | 600,000 | | 会報37号発行印刷、 発送料 |
| 3 会議費 | 50,000 | 150,000 | | 100,000 | 役員会等経費 |
| 4 招待学年記念品費 | 0 | 0 | | | |
| 5 卒業記念品費 | 220,000 | 200,000 | 20,000 | | 卒業記念品代 (卒業証書ファ イル) |
| 6 部活動奨励金等 | 800,000 | 900,000 | | 100,000 | 部活動奨励金等 |
| 7 学校行事補助 | 50,000 | 300,000 | | 250,000 | SSH関連事業経費、 高大連携経費等 |
| 8 国際交流基金 | 200,000 | 200,000 | | | 国際交流補助 |
| 3 慶弔費 | 50,000 | 50,000 | | | 弔慰金等 |
| 4 基金積立金 | 0 | 500,000 | | 500,000 | 創立130周年式典 に向けての積立 |
| 5 予備費 | 84,000 | 71,000 | 13,000 | | 同窓会招待学年 懇親会補助金 |
| 合 計 | 5,924,000 | 6,321,000 | | △ 397,000 | |

科目間の流用を承認願います。

上記のとおり提案いたします。

令和7年4月5日

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 白幡同窓会会長

基金積立金(常陽銀行) 6年度末積立額 6,003,715円
 合 計 6,003,715円

上記のとおり報告いたします。

決算報告日 令和7年3月16日

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 白幡同窓会会長 小倉 培夫

監査書

令和6年度収支決算について、監査しましたところ証拠書類、通帳等すべてにおいて正確にして適正であることを認めます。

令和7年3月16日 監事 山田 實 誠
 監事 赤塚 誠

令和8年度 同窓会総会のご案内

令和8年度 白幡同窓会 総 会

1 日時 令和8年4月4日（土）午後2時 開会予定

2 場所 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 体育館

令和8年度の総会については、4月4日（土）午後2時から竜一高体育館にて開催する予定です。

今回ご案内の往復葉書を差し上げるのは、各卒業回の幹事の方々と、令和8年度の招待学年である高校19回・29回・44回・59回・69回及び定時制15回・25回・40回・55回・65回の卒業生全員になります。

なお、令和8年度の総会より、会場の体育館に招待学年別の座席を用意することになりました。また、総会後に招待学年別に集まり、懇談できるスペースを用意する予定です。

総会の案内が届かない同窓生の皆様は、右のQRコード、または、
白幡同窓会ホームページから参加申し込みができます。

総会申し込み URL <https://forms.gle/UxwF6mpVZLTNnvRa7>



※白幡同窓会ホームページ <https://shirahata.sakura.ne.jp>

そのほか、下記同窓会メールアドレス、または、事務局にご連絡ください。

オリジナル校章入りの「白萩釉鎬湯呑」の贈呈

招待学年の出席者の方と70歳以上の出席者の方（1回限り）には、陶芸家・植竹敏氏（高27回）作製のオリジナル校章入りの「白萩釉鎬湯呑」を記念品として贈呈いたします。

なお、総会に出席された80歳以上の同窓生の方には、もれなくオリジナル校章入りの「白萩釉鎬湯呑」を記念品として贈呈いたします。

また、招待学年以外の出席者を対象に、抽選で3名の方に上記湯呑を贈呈する企画がありますので是非総会にご参加ください。

同 窓 会 懇 親 会

新型コロナウイルス感染拡大前に開催していました総会の後の「同窓会懇親会」につきましては実施しないことになりました。

それに代わって、「招待学年単独による懇親会」を開催する場合については、同窓会本部より3万円の補助金を1回に限り、給付することになりました。

なお、日時及び場所等については招待学年幹事等で決めていただき、同窓会本部（下記メール）にご連絡ください。同窓会役員1名がその懇親会に参加させていただきます。

◎上記のことについて、ご不明な点があれば下記にご連絡ください。

白幡同窓会メールアドレス shirahatadousoukai@gmail.com

白幡同窓会事務局 TEL 070-2182-1290

恩師を訪ねて

松本君代先生



山歩会でのミーティング

苦慮する日々は、ハピニングの連続だったとか。勤務は土浦二高と私立茨城中で非常勤講師、下妻養護学校小学部と竹園高では教諭で学級担任。多様なご経験から「褒めたら伸びる!」を得ました。

そして、3人の子育てが終わりかけた45歳の時、竜一高へ赴任。野球好きの松本先生にとってこの異動は長年の希望だつたそうです。

竜一勤務の10年間には学年副担任、学年主任、進路指導主事、教務主任、定時制教頭を務められました。夏と春の甲子園、校舎改築、創立百周年という大行事に巡り合えたことを誇りだとおっしゃっています。その後、牛久栄進高(教頭)に異動されました。

★竜一での地学の授業

「初任教校では地理と政経の授業を受け持つたため、未知の世界を肌で感じたく旅に出ました。最初はソ連とヨーロッパ。土産話や土産物に生徒の目がキラキラするのが嬉しくて、その後も折をみて国内外の旅に。主に地学を担当



カムチャツカ登山(66歳)

の曲を私のアコーディオンに合わせて歌つてくれたりしました。打けば響く生徒さん達と楽しかったです」

★ご退職後のご様子

「60代はよく山に登りました。南は屋久島の宮之浦岳から北はカムチャツカの世界自然遺産の山まで。また、登山初心者の友人達を筑波山などに頻繁に案内していました。しかし、コロナ禍に陥ってからは県内の平地ウォーキングに切り替えて月1回実施。この『山歩会』は、どなたでもいつからでも参加できるゆるい形で現在も続けています。所々で地形や歴史などを説明したりもしています。因みに

した竜一では、集めてきた各地の石や白・黒・赤色の砂などを地学室に並べました。すると生徒からも嬉しいお土産が。野球部員から『甲子園の砂です!』その夏は甲子園で石川の星稜高と対戦し、松井秀喜にホームランを打たれて惜敗でした。部員達とは、甲子園の熱気を思い出しながらも懐かしい。授業ではジオイドの項で、重力と海水面の関係を実感するためにバケツに水を入れてぐるぐる回したり、黒潮の項では『椰子の実』の曲を私のアコーディオンに合わせて歌つてくれたりしました。打けば響く生徒さん達と楽しかったです」

★学年主任の時の思い出
学年の生徒達と親しく関わる時が楽しく充実した瞬間だつたと話す松本先生。LH Rの時間にクラス対抗縄引きや、各先生の推しの曲を当てるクイズ大会などを学年団の先生方と一緒に企画。この時の先生方とは、今でも時々宴に集い昔話をしておいでとか。

『学年主任の松本君代先生はボーカル・アンド・ガールズ・ビー・アンビシャス!といわんばかりのテンションで、常に受験生たちにパワフルなエネルギーを与えて下さいました』と、ある教え子の生徒さんも当時の様子を語っています(白幡26号より)。



自宅にて
(初任教給で購入したアコーディオン)

★松本先生からのメッセージ
「今80歳の私は、生後1ヶ月余で前橋空襲に遭い(1945年8月5日)家を焼かれ親族を失いました。それから貧しく大学生まで苦学しました。その体験から『戦争には絶対に突き進まない世をつくること』と『今』を充実して生きることを強く念じています。この思いを、若い世代の方々にもエールとして送りたいです」

(文責 川口 浩己)

今年1月は龍ヶ崎で『龍鉄に乗り旧水戸街道・若柴宿を歩き、歴史ある金龍寺に寄る』というテーマ。最後には龍ヶ崎コロッケを食べて和やかなひとときでした。茨城県は歴史遺産も多く自然も豊かで、企画に事欠きませんね」



八十歳を過ぎてからの「有志会」も五回目を数えることとなりました。高度経済成長期だった当時、級友たちがそれぞれの立場で大活躍する中、時代に取り残された感のあつた我々農家の跡取りたちが中心となり、八人で飲み会を始めたのが始まりです。そ

高校第十一回 同窓会便り

の後、三十数年の長い休会の後、「会いたいなあ」との連絡で、現職の農家である三人が近在の級友を誘い、八人で会を再会しました。皆は懐かしさと想い出に感謝しつつ「有志会」と名付けました。昨年からは女性にも参加していただき、今年は男女二十四人の参加となりました。来年は250人の級友の多くが参加してくれるこことを期待しています。母校見学などを考えていますので、ぜひ、ご連絡をください。

高校第十七回 同窓会

柳井

哲也

令和七年七月五日、牛久駅前のエスカーデスタジオで同窓会を開催しました。竜一高の現状をよく知る白幡同窓会の副会長倉持正男様を来賓としてお招きし花を添えて頂きました。

昨年の地区同窓会で次回は十七回生全体に呼びかけて実施しようと決まったため早速世話人二名で名簿づくりからスタート。やがて四名となり同窓会開催の葉書を投函した三月二十日頃になると更に増

えで最終的には十名を超えるまでになりました。女性は女性世話を電話連絡ですぐに行き、十名程の出席者が決定。男性もできるだけ電話募集しながらも百六十五枚の葉書を出しました。六十年ぶりの再会という人が多いと予想できたので、『会員同士の%交流を達成させるにはどうすればいいのか』に重点を置き会議を重ねました。五月末には五十二名の出席者を数えましたが、出席者全員が顔と名前をしつかり確認し合うには、

百五十分必要になり、時間不足は致命的です。従って交渉時間は午後一時から五時まで四時間を確保することにしました。

最終的に出席者はコロナ感染や体調不良等で四十四名になつたものの、七十九歳の人生経験豊富なスピーチは興味深くもと長く話して欲しいと思うものばかりでした。中間に四十分の休憩時間をとり、倉持様が用意してくれたCDで校歌齊唱をすると全員欠席者の消息等もやりとりができました。

後半に移り、全員のスピーチが終了したのは丁度四時でした。長すぎるかと思つた時間も本当にあつという間のひとときでした。

会費は施設利用料、葉書

印刷、写真、軽食等全て含めて五千円。ひとり一人がマイケを持って楽しくスピーチされたので、六十年の空白はかなり埋つたものと感じています。次回の担当も決まり再会を誓つて帰途につきました。

楽しい時間は本当にあつと



高校第二十六回 卒業生

赤石

守

令和七年十一月九日、秋の霧雨が静かに降るなか、牛久シヤトーにて第二十六回卒業生の同窓会が開かれました。恩師の齋藤佳郎先生、中根宏先生をお迎えし、卒業生五十二名が集まりました。私たちが古希という節目の年でもあり、いつも以上に特別な思いで臨んだ会となりました。

二年ぶりの再会といふこともあって、当日の朝から胸が高鳴りました。会場には懐かしい笑顔が並び、最初こそ少し照れながら声を掛け合いましたが、ほんの数分で気持ちはあの頃のまま。あちこちで笑い声が弾け、あつという間に青春時代へとタイムスリップしたようでした。

近況を語り合い、昔話に花を咲かせながら、みんなが歩んできた年月の重みを感じつつも、心は変わらず若々しいまま。健康の話題や薬の話も出ていたようですが、それも「お互い元気でいようね」と励まし合える温かなひとときでした。

いう間で、「また会おうね」と約束を交わしながら名残惜しくそれぞれの帰路へ。古希を迎えても変わらない友情と、こうして集まれる幸せを改めて感じた一日でした。

次の同窓会で、またみんなの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。



7年5月25日に牛久シャトーレストランにおいて同窓会を行いました。1975年3月卒業して以来、約半世紀たつた同窓会でしたので、出席率は約25%でしたが、恩師の富永先生と南畠先生がいらしてくれて大盛り上がりました。

富永先生や南畠先生にお話を聞いていただく時には、みんな

な先生の方を見て、高校生の時に真面目に集中して聞いていました。私も個人的には富永先生には1年生の担任であり、テニス部の顧問をしていただいたので、本当に懐かしく話しました。南畠先生には、音楽の先生がいたといった当时の龍ヶ崎一高にあって、私が2年生の途中から入った音楽部の顧問を軟式野球部と兼任してくださって、これもまた懐かしいとのことで、これもまた懐かしく思いました。

元硬式野球部マネージャーで幹事の宮本さんによる乾杯の発声後、恩師からのご挨拶をいただきました。富永先生からは、「十年一(ひと)昔

という言葉がありますが、この言葉の重みを感じています。私は八昔になり、皆さんは六昔を過ぎ七昔になろうと

している今、こうして集まるのは、龍ヶ崎一高が良い学校でしつかりしているからです。このような機会を持つて

ことに感謝しますよ」というような話がありました。南畠先生からは、同僚であった松島先生の近況を話していました。卒業して50年のそれぞれ人生を興味深く聞き入りまし

た先生の方を見て、高校生の時に真面目に集中して聞いていました。私も個人的には富永先生には1年生の担任であり、テニス部の顧問をしていただいたので、本当に懐かしく話しました。南畠先生には、音楽の先生がいたといった当时の龍ヶ崎一高にあって、私が2年生の途中から入った音楽部の顧問を軟式野球部と兼任してくださって、これもまた懐かしいとのことで、これもまた懐かしく思いました。

元硬式野球部マネージャーで幹事の宮本さんによる乾杯の発声後、恩師からのご挨拶をいただきました。富永先生からは、「十年一(ひと)昔

という言葉がありますが、この言葉の重みを感じています。私は八昔になり、皆さんは六昔を過ぎ七昔になろうと

している今、こうして集まるのは、龍ヶ崎一高が良い学校でしつかりしているからです。このような機会を持つて

ことに感謝しますよ」というような話がありました。南畠先生からは、同僚であった松島先生の近況を話していました。卒業して50年のそれぞれ人生を興味深く聞き入りまし

高校第三十回 同窓会通信 「銀座で格安同窓会」

篠塚 繁美

今から10年前57歳の時に同窓会を行った際、3年後の還暦になった時に次回を行うことを決め、案内ハガキを省略するためLINEグループを作りました。

3年後コロナ禍で同窓会は延期となり、その後コロナも落ち着いたのに開催の兆しがないのでLINEグループで話を進め、色々と情報を頂き検討した結果、銀座で4時間飲み放題6700円という格安の宴会場が見つかりまし

た。横断幕もサービスで、通信費や名札を入れても会費は7000円で済みます。周知はLINEグループで100名程度、同窓会名簿で住所が判りLINEに登録しない人へはハガキを送り、また各組2名の幹事には、捜索と連絡をしてもらい総数64名、女性は16名と男性よりも高い比率での参加となりました。

第一で一昔ずつ延ばしながら、また集まるなどを誓いました。そのため当日へ。

その間、幹事会は行わず幹事のLINEグループの打ち合わせのみで当日へ。

4月20日日曜日の11時半か



最初は元応援団のM君の音頭で校歌斎唱。その後2次会、3次会と続き、本当に楽しいひと時を過ごしました。次回もたくさんの方が出でるようになると願います。

高校第31回卒の同窓会を計画いたしました。詳細はQRコード、URLからご覧ください。

幹事・山崎 瞳
岩崎 和久
坂本 武久
本田 仁子（旧姓・坂本）
永山世津子（旧姓・杉山）

第31回卒（昭和54年3月卒）の同窓会の様子

山崎 瞳



<https://sites.google.com/view/ryu1st31threunion>

ら、それも着席時から飲み放題なので、最初から盛り上がり各自高校の時の思い出や現状を語り合い、一人一人の挨拶の時には卒業アルバムの写真と、それを元に65歳となつた時の写真をパソコンが達者なN君に作って頂き、スライドで流したりもしました。

最初は元応援団のM君の音頭で校歌斎唱。その後2次会、3次会と続き、本当に楽しいひと時を過ごしました。次回もたくさんの方が出でるようになると願います。



19回
高野 卓男

母校の想い出

遊びは父から体力気力があるのに

にアザラシの毛皮をシールして登ったとか。そんな父の葬儀の時に、山友達から山頂でコーヒーを淹れてくれた味が忘れられませんと聞かされ、皆驚きました。

話を戻して一高時代の冬は寒く、流大裏の向池も凍結し、S君、K君と3人で早朝スケートを楽しみました。

高校受験時、父から竜一高に行き、運動部で鍛えなさいと言われました。明治時代に祖父達があの山を用意し、誘致活動の末の学校で縁があるから、というわけです。それで本校に入学、バレーボール部に入りセッターで盛り上げ、変化球サーブで相手を苦しめました。

自家は戦後、田畠を失い、造り酒屋を閉め、乳製品卸業を開業しました。夏場は忙しいので手伝いましたが、冬はスキーやスケートを楽しめました。私が小学校4年、姉が高1の冬休み、父の友人で、谷川岳で遭難者救出で活躍した高波吾策さんが山小屋を営んでいる土樽駅前スキー場で子供4人連れで滑りました。夏、天気予報を調べず家族で跳子へキャンプに。砂利道を長時間走つて着いたら台風接近で泣く泣く撤収。父は登山の際、冬山ではスキー板

卒業後M君は渋谷へ引っ越すというのでI君と手伝いました。大卒後M君は竜一高で指導者の道へ。年中無休で頑張りましたね。時には息抜きの尾瀬沼ハイク、後々に監督

ません。

卒業後M君は渋谷へ引っ越すというのでI君と手伝いました。大卒後M君は竜一高で指導者の道へ。年中無休で頑張りましたね。時には息抜きの尾瀬沼ハイク、後々に監督

ませんでした。今は甲子園出場という快挙であると思います。県営球場や夜行バスで行つた甲子園で、応援団指揮のもと何度も校歌を歌い大きな声で応援しました。夏が来るたび、あの興奮、感動を思い出します。

まさしく青春でした。そして目標達成には野球部のように努力しなければと思ったものでした。

今でも鮮明に記憶に残つてるのは地学部での活動です。顧問は2、3年の担任でもあつた蜂須紀夫先生でした。

測所見学・鉱物採集、帰る列車で隣席になつた某鉱山会社

そして竜一高の今は附属中学校も加わり、通学姿はリュックに運動靴姿に変わり二高と合同の活動であり、淡い思いを持って参加をしたものです。巡査翌日、許可なく県天然記念物の球状花崗岩を採集したと県教委よりお咎めがあつたと先生から言われ、岩壁を割つて持ち帰つた訳ではなく、落下物を拾つてきたことを伝えました。その後、球状花崗岩（通称小判石）を半分に切断、研磨し現在も大事に手元に置いてあります。



19回
高藤 茂男

60年前を振り返る

中学校も加わり、通学姿はリュックに運動靴姿に変わり二高と合同の活動であり、淡い思いを持って参加をしたましたが、清楚な好感を持った姿は変わらないで欲しいと願っています。

また、旧八郷町西光院での球状花崗岩の観察採集は、竜二高と合同の活動であり、淡い思いを持って参加をしたものです。巡査翌日、許可なく

の方から鉱床・鉱物についてのレクチャーと地学部の生徒になつたのだと実感しました。女生徒もかなり増えました。女生徒もかなり増えましたが、清楚な好感を持った姿は変わらないで欲しいと願っています。

また、旧八郷町西光院での球状花崗岩の観察採集は、竜二高と合同の活動であり、淡い思いを持って参加をしたものです。巡査翌日、許可なく

県天然記念物の球状花崗岩を採集したと県教委よりお咎めがあつたと先生から言われ、岩壁を割つて持ち帰つた訳ではありません。落下物を拾つてきたことを伝えました。その後、球状花崗岩（通称小判石）を半分に切断、研磨し現在も大事に手元に置いてあります。



19回
高藤 茂男

通常の活動とは別に、仲間だけでも自転車で、筑波山へ柘榴石などを採集に行つたこともありました。帰りに山へ柘榴石などを採集に行つたこともありました。帰りに足がつった人もいたが、実際に手元に置いてあります。

地学部での巡査・実習、仲間と共に活動する楽しさ、峰須先生の丁寧かつ核心をつく指導など、振り返ると、これらの体験が理科の教員を目指そうとする契機となつたのかと思つています。その後、念願かなつて教員となりましたが、現職教員研修で、再び恩師の峰須先生にご指導頂く機会がありとても懐かしく、嬉

た。 しい気持ちで一杯になりまし

仕事（教員や教育行政）を大過なく無事終えることでございまして、今振り返ってみると、同窓生の方々のご支援先生方のご指導のお陰と改めて思います。今はまだ「感謝」の一言に尽きます。有難うございました。



高 19 回
武田 章

地学部のこと

当時を思い起こしても特筆することも余りないのは、学業にも部活にも熱中することもなく、怠惰な高校時代を過ごしていた証左だと思い知らされた。以下乏しい思い出を辿つてみる。

1年時東京五輪の柔道中量級で金メダルを獲得した岡野功選手の優勝パレードで、手を差し出したら「ありがとう」と言つて握手をしてもらい感激した。3年時には野球部が44年ぶりに甲子園出場を果たし、甲子園まで応援に行つたが強い浜風のため外野スタンド高所の応援旗が止め金から

たこともあつた。3年時に秩父地方で地質調査をしたことが一番の想い出だ。長瀬で先生旧知の旅館に投宿し、正丸峠を越えて伊豆が岳、武川岳、武甲山を縦走した。ここで山歩きの樂しさを知つた。帰途西武線の車内で竜ヶ崎一高の甲子園出場決定の報に接し全員で喜び合つた。こうした地学部での体験学習がその後の自分の趣味趣向なりを方向付けたと思つてゐる。後年信託銀行に就職し地方勤務を繰り返したが、その地方の博物館などは必ず見学したり一番高い山や名峰に登つたりしてきました。

破れ始めたので針金を探してやつとポールに括りつけた。2回戦で報徳学園に惜敗したが、甲子園で母校の応援という得難い体験をさせてもらいうべき野球部には感謝している。

く楽しい思い出に昇華していく。友人との交流も当時の体験が礎になつて現在に至つてゐる。いつ会つても直ぐに当時の自分、仲間に戻れる。3年間自転車通学だったので、いつか60余の石段を一足ごとにしつかりと踏みかため、新装なつた母校を訪れてみたいと思つてゐる。最後ですが、白幡同窓会会員諸氏のご健勝を祈念いたします。



高29回

龍一だつたからこそ

今回の原稿依頼を受けてあらためて高校時代を振り返つてみると、まさに龍一時代が私の人生のターニングポイン

トであつたと感じている。学
区外で同じ中学からは私含め
て三人、慣れない電車通学も
あり入学当初は不安も多かつ
た。しかしそうに周りと打ち
解けることができ、在学中は
先生方にも迷惑をかけてばかり
だつたが本当に楽しい三年
間であった。現在も当時の同
級生と月一でゴルフを楽しん

でいる。入学後、中学に引き続きバレーボール部に入部したその日からバレーボール部の日々が始まった。監督は中根宏先生（中根先生をご存じの方々にはいろいろ説明する必要はないであろう）、合宿では関東大会へ出場された先輩方を中心毎日練習は本当に厳しいものであつた。しかし今では練習以外の数々のエピソードも良い思い出だ。その合宿に中根先生のお知り合いの教え子の方も参加されていた。当時日体大バレーボール部で活躍されたこの方との出会いが私の人生に大きな影響を与えることとなつた。日体大でバレーボールをやつたらどうだ?と言われ、元々将来は保育科教員を考えていたこともありそれが現実味を帯びることとなつた。中根先生からは「技術的に通用しないからコーチやマネージャーの勉強をしておくこと」と助言を受け、日体大では地獄のような一年生の日々を耐え抜き、四年時には副主務という部の運営的立場となつた。

は競技委員長として大会運営の責任者を務めた。現在は小学生チームの監督として、また五十歳以上の全国大会にも現役プレーヤー（六十六歳）として出場している。

竜一に入学したからこそ、このように充実した人生を送っていることに感謝です。



「感性は高校生までに90%出来上がつてしまつ説」にひづれ

高29回 稲本義則
あるラジオ番組を聴いていたところ、アーティスト系のゲストが放った言葉である。この説を検証すべく、高校時代を思い起こし66歳となつた現在の私と項目ごとに照らし

合させてみたいと思う。

音楽

音楽評論家の渋谷陽貴憲章氏とともに私の憧れの

的だつた。

私は中学生時代か

ら洋楽に惹かれ高校でも同好

の士(JM氏など)と時を惜

しんで語り合つていた。帰宅

するとFMラジオ、FEN

かじりついて深夜までザッピング。将来、海外アーティストのアルバムの曲目解説を書くことを夢見てあらゆるジャ

ンルの音楽を聴いていた。夢

はかなわなかつたが現在もクラシックからロック、ジャズ、民族音楽等、そして当時は聞いていなかつた昭和歌謡(東京大衆歌謡団を推奨)も聴くようになつた。そして聴くだけに留まらず、同級生の旧姓、秋山・堀田・小泉さんら主催のコンサートに声楽で出演皆様のお耳よごしをしている。(2026年9月最後のコンサートを開く予定)

音楽評論家の渋谷陽貴憲章氏とともに私の憧れの

的だつた。

私は中学生時代か

ら洋楽に惹かれ高校でも同好

の士(JM氏など)と時を惜

しんで語り合つていた。帰宅

するとFMラジオ、FEN

かじりついて深夜までザッピング。将来、海外アーティストのアルバムの曲目解説を書くことを夢見てあらゆるジャ

ンルの音楽を聴いていた。夢

はかなわなかつたが現在もクラシックからロック、ジャズ、民族音楽等、そして当時は聞いていなかつた昭和歌謡(東京大衆歌謡団を推奨)も聴くようになつた。そして聴くだけに留まらず、同級生の旧姓、秋山・堀田・小泉さんら主催のコンサートに声楽で出演皆様のお耳よごしをしている。(2026年9月最後のコンサートを開く予定)

音楽評論家の渋谷陽貴憲章氏とともに私の憧れの

的だつた。

私は中学生時代か

ら洋楽に惹かれ高校でも同好

の士(JM氏など)と時を惜

しんで語り合つていた。帰宅

するとFMラジオ、FEN

かじりついて深夜までザッピング。将来、海外アーティストのアルバムの曲目解説を書くことを夢見てあらゆるジャ

ンルの音楽を聴いていた。夢

はかなわなかつたが現在もクラシックからロック、ジャズ、民族音楽等、そして当時は聞いていなかつた昭和歌謡(東京大衆歌謡団を推奨)も聴くようになつた。そして聴くだけに留まらず、同級生の旧姓、秋山・堀田・小泉さんら主催のコンサートに声楽で出演皆様のお耳よごしをしている。(2026年9月最後のコンサートを開く予定)

8月OB会(5学年いる)を開催している。今年もお元気な富永先生を囲んで病氣自慢をしつつ楽しい時を過ごした。

恋愛

携帯のなかつた古き良き時代。朝日が差し込む教室の白いカーテン。登下校の細い横道。浪川のゴムソバ(失礼!)、淡い恋心を抱いた甘酸っぱい季節。未だに高校時代を描いた、日・韓・台湾のドラマ・映画の沼にはまつている。

有志による聖書研究会

が

あつたのだ。牧師の子であつた私は誘われるままに参加していました。3年生の夏に洗礼を受けた。現在所属する土浦めぐみ教会の教会学校で中高生の教師を30年ほどしている。今夏は韓国ソウルにある姉妹教会と、日韓合わせて100名近い中高生と合同キャンプに参加。高校生の瑞々しい感性を目の当たりにし、懐かしいやら嬉しいやら羨ましいやらであった。

を二つ。18年ほど前、つくばの画廊で催されたグループ展で買い求めたキタザワ氏の小品「月の夜」。それが今年あの同窓生の北澤氏であることを知ったのだ。同じ時代を生きた感性が響きあつたのだ。

と。そして極めつけは高校生時代ほとんど面識もない5人

時代ほんと面識もない5人

ありました。出会えた全ての皆様、ありがとうございました。



高 44 回



高等学校音楽鑑賞（1976年11月）

私は現在、プロ野球の公式記録員という仕事をしていくます。甲子園を含めた全国のプロ野球の試合が行われる球場に赴き、スコアを記しヒットやエラーなどの記録を決定する権限を持っています。大谷翔平選手の日本でのプロデビュー戦も担当しました。

私は硬式野球部に所属し、二・三年生で二度も甲子園に行くことができました。二年生の時は県大会を第1シードから順当に勝ち上がりましたが、三年生の時は県大会6試合のうち4試合を1点差で、そのうち3試合はサヨナラ勝ちという接戦を勝ち抜いての甲子園でした。甲子園の三回戦では、後にプロ野球やメジャーリーグで活躍し国民栄誉賞を受賞した、当時二年生の松井秀喜選手を擁する星稜高校と対戦し、惜しくも1点差で敗れて最後の夏となりました。この頃の松井選手はそれまで目立った活躍があつたわけでもなく、「星稜で一年から四番を打っている」というくらいの評判で、前日のミーティングでも「打つ方より盗塁を警戒」という話でしたが、その試合で右中間スタンドに突き刺さるようなホームランを打たれたのは今でも目に焼き付いています。たくさん野球を見てきた私ですが、あれ以上の衝撃は未だかつてありません。



1991年甲子園練習での集合写真

ず、大竹先生から頼まれて球審をやることになり、自分の立場がうまく出来たと思っていました。持丸監督から冗談で、「審判の仕事でも紹介してやる」と言わされた時に、「そういう野球の関わり方もあるのか」と意識し、これが今の仕事に就くきっかけとなつたのは間違いありません。

プロ野球では試合前に場内アナウンスで公式記録員の登場もあるので、私の名前が呼



高44回

今夏の甲子園は暑さ対策として二部制になつた。そのため夜まで試合が続くこともありますり、職場の東京から帰宅してテレビをつけると高校野球が中継されていた。驚くと同時に懐かしさを感じた。私が在学中に野球部が2年連続甲子園に出場した。甲子園で勝利し在校生、卒業生が一体となつて校歌を大合唱したことは良き思い出である。今となっては、とても貴重な経験だつたと感じている。ちょうど高校時代を振り返るよい機会となつた。

1つ目は楽しく有意義な時間過ごしたからだ。龍ヶ崎で育ち、祖父や父が卒業生、1歳上の姉も在学しており、だから私も当然高校は竜一高だと思い込み、なんとか入学することができた。ハンドボール部で、夏の暑さの中、走り回っていたことを、駅の階段で息切れをする今では、自分でも信じられない。勉強について強制されたという記憶はなく、皆が目標に向かって自主的に行っていたと思う。そういう雰囲気がとても好きだった。

築き、つないできたものに触
れながら日々学んでいたので
ある。私自身その伝統に恥じ
ないよう生きていかなくては
と、ささやかながら思つてい
る。そう感じさせてくれる母
校にとても感謝している。

卒業生のますますのご活躍を中心より祈念し結びとする。

過去を変える出会い
「11点」から始まつた
学びと再生の記憶



高44回 和田一郎

高校の記憶というものは、時間がたつと往々にして「卒業後に塗り替えられた記憶」となる。いま獨協大学でデータサイエンスを教える私は、本校の卒業生が入学してくるたびに、自分の高校時代を思い出す。

高校入学時、H組に配属された。国語を担当したのは、このクラスだけ持ち上がりではなく毎年異動を繰り返す老教師。授業は教科書を淡々と読むだけで板書も説明もない。1学期の中間試験では、H組の平均点が他クラスよりも低かった。それでも先生は「努力不足」と私たちを責め、「教えられない」とできないのはダメ生徒だ」と断じた。思わず私は、「先生が教科書を読むだけだからです」と口について出た。

大学卒業後、進路で小論文が必要になったとき、取手駅で偶然小田部先生と再会し、添削をお願いした。返つてくる手紙には、技術的な指導以上に、私の思考と心情に寄り添う姿勢があつた。そのとき初めて、文章とは「伝える行為」だと知った。書くという

高校の記憶というものは、時間がたつと往々にして「卒業後に塗り替えられた記憶」となる。いま獨協大学でデータサイエンスを教える私は、本校の卒業生が入学してくるたびに、自分の高校時代を思い出す。

2年生になると、国語を担当したのは小田部雅子先生だつた。明晰な授業と文学への深い洞察、そして生徒一人ひとりへの敬意。高校1年で学ぶべき基礎を欠いた私は、講義についていけず、国語へを抱いていた。それでも先生は私を理解し、高校生クイズへの挑戦などを応援してくれた。

高校時代の想い出として、最も鮮明に覚えているのが卒業後の下駄箱の風景である。



下駄箱

高59回 福田(佐久間)弘子

ななかか進路が決まらなかつた私は、3月半ば頃まで何度も竜一に足を運んでいた。卒業式を終えた3年生の下駄箱の中に自分の靴が1つだけあれば、もう誰の靴もない。その中に自分の靴が1つだけあれば、なんだか不思議な光景が記憶の中にずっと残つていて、受験シーズンや、我が子の授業参観なんかに行くたびに頭にぱつと思いつかふのである。どうしてこの光景が強く印象に残つているのだろう。改めて振り返ると、しかし小田部先生との出会いで学問と教育への情熱に転じることができた。私の一つの領域の研究である「トラウマからの回復」で見れば、過去は変えられないが、その意味は変えることができることの実体験であつた。私の高校時代の記憶は、小田部先生のおかげで、「再出発の記憶」となつた。

竜一へ入学した当初から、熱意のある先生方に恵まれた。あの熱意がなければ、ぼんやりとした高校生活を送り、進路も全く違つたものになつていただろう。当時の進路選択が現在の自分につながつてゐることを考えると、竜一生で

同じ熱量でご指導いただいた担任の辻先生には足を向けて寝られません！今では笑い話だが、自分の不甲斐なさに辻先生の前で涙したことでもつた。その後、他の先生方が優しく接してくれた

行為は、苦しみを整理し、過去の意味を新たに書き換える。當みでもあると、私は後に理解した。

いま私が教える統計やデータサイエンスという客觀性の技法も、文章という主觀の再構築も、すべてはあの11点の経験から始まつた。もし小田部先生との出会いがなければ、私は高校時代を「不当な扱いを受けた被害者」としてだけ記憶していたかもしれない。

しかし小田部先生との出会いで学問と教育への情熱に転じることができた。私の一つの領域の研究である「トラウマからの回復」で見れば、過去は変えられないが、その意味は変えることができることの実体験であつた。私の高校時代の記憶は、小田部先生のおかげで、「再出発の記憶」となつた。

当時の想いや裏話を聞かせていただきたり、我が子の進路を相談してみたり。人生の先輩として、恩師からの学びはまだまだ尽きない。竜一生としてのご縁が今もずっと続いていることに、ただただ感謝の気持ちでいっぱいである。

早いもので、あの日から18年。ありがたいことに、今まで先生方との交流は続いている。

たのはきっと気のせいではなく、温かいまなざしの中、学業面だけではなく、精神的にも大きく成長させていただいた高校時代。恩師の元を離れようとしていたあの時期の光景は、当時の私に強い印象を残したにちがいない。



青春の軌道は、やり投げるとともに

高59回 東(宮本)理陽子

たのはきっと気のせいではなく、温かいまなざしの中、学業面だけではなく、精神的にも大きく成長させていただいた高校時代。恩師の元を離れようとしていたあの時期の光景は、当時の私に強い印象を残したにちがいない。

たのはきっと気のせいではなく、温かいまなざしの中、学業面だけではなく、精神的にも大きく成長させていただいた高校時代。恩師の元を離れようとしていたあの時期の光景は、当時の私に強い印象を残したにちがいない。

高校1年生の春、陸上競技部に入ろうとグラウンドで見学していた時に、先輩に声をかけていただいたのをきつかけに、何気なく始めたのがやり投げでした。それが全国大会、そしてモロッコでの世界ユース大会へとつながるとは、当時の私には想像もできませんでした。

思い出るのは、仲間とグラウンドで笑い転げながら行った練習や、夜まで語り合った合宿や遠征の時間。トレーニング後、腕が上がらない程の疲労感と、それに勝る達成感。

試合前の緊張と高揚感——陸上競技は個人競技ですが、記憶に残っているのはいつも仲間との時間です。競技の厳しさの中で、仲間の存在が何よ

りの支えでした。競技を通じて、全国の同世代の選手たちと出会い、互いに刺激を受けながら成長できたことも大きな財産です。中には今でも親交がある、生涯の友人となつた人もいます。やり投げがないでくれた縁は、私の人生に深く根を張っています。

恩師である栗山先生には、部活動だけでなく進路に迷った時にも親身に相談に乗つていただきました。すべての試合や合宿に付き添つてくださいました。



高59回
東井 宏樹

不易流行

竜ヶ崎一高で過ごした3年間は、私の価値観や生き方を形づくる時間でした。挑戦する勇気、支えてくれる人への感謝、そして自分を信じる力。あのグラウンドで流した汗と涙が、今の自分をつくってくれたのだと思います。母校で過ごした日々に、今改めて深く感謝しています。竜ヶ崎一高の益々のご発展を心から祈念し、末筆ながら結びとさせていただきます。



硬式野球部に入部した私の高校生活は毎日が試練、鍛錬。場や厳粛で凜とした式典の雰囲気に心が震えたことを今でも鮮明に記憶している。当時の龍一は活力にあふれていました。もちろん勉強もできるが、母となつた今、ようやくその気持ちに気づくことができました。

龍ヶ崎一高で過ごした3年間は、私の価値観や生き方を形づくる時間でした。挑戦する勇気、支えてくれる人への感謝、そして自分を信じる力。あのグラウンドで流した汗と涙が、今の自分をつくってくれたのだと思います。母校で過ごした日々に、今改めて深く感謝しています。竜ヶ崎一高の益々のご発展を心から祈念し、末筆ながら結びとさせていただきます。

先生からは「人間の強さ」と「両極を理解すること」の大切さを学んだ。一冬明け、いよいよシーズンインとなる3月。私の手首は突如壊れた。全治3ヶ月。私の高校野球は3月で終わりを迎えた。しかし、選手としては使い物にならない私を三塁コーチャーとしての役割を与え、ベンチに入れてくれた。監督さんの思ひがうれしかった。私達の代は秋、春と地区予選敗退。夏も初戦負けと竜一史上最弱であるかもしれないが、あのグラウンドでの経験はどの代にも劣るものではないと信じている。



高69回
池野辺寿弥

高校生活に祈りを

高校何年生の何月に戻りました?——いや一日も!。情けない記憶ですが、誰かの糧になればと思い筆を執ります。硬式野球部に所属した僕の高校生活は、大部分が苦しい記憶です。印象深いのは高二の冬。自主練を終えて部室を出るのは毎日23時頃。疲労困憊の体と終わりの見えない冬

高校生活は毎日が試練、鍛錬。下級生の頃はいかに今日という一日を無事に過ごすかばかりを考えていた。学校には野球をするために通つていたところでも過言ではない。当時の先生方には多くのご迷惑をおかけしたと思っている。最上級生となつてからは、どうしたら上達できるのかを考えていた日々に変化した。宮本正和先生からは「人間の強さ」と「両極を理解すること」の大切さを学んだ。一冬明け、いよいよシーズンインとなる3月。私の手首は突如壊れた。全治3ヶ月。私の高校野球は3月で終わりを迎えた。しかし、選手としては使い物にならない私を三塁コーチャーとしての役割を与え、ベンチに入れてくれた。監督さんの思ひがうれしかった。私達の代は秋、春と地区予選敗退。夏も初戦負けと竜一史上最弱であるかもしれないが、あのグラウンドでの経験はどの代にも劣るものではないと信じている。

高校卒業後も監督さんの「東井、明日からノックな」の一言で、学生の身ながらコーチとして携わり、大学卒業後は高校教諭として茨城県が私の夢。入学式での校旗入

練に「なぜプロにもなれないのに、こんな辛い事を毎日しないやいけないんだろう」と絶望しました。今努力が大いに未来に繋がってない、と悟る瞬間が一番苦しいです。ここでは未来から目を背ける力が培われたと思います。

最後の夏はエースとして県ベスト8で敗退しました（野球応援に来て下さった方々には感謝申し上げます）。さて野球を終えた僕に、担任の先生は告げます。「このままだと○○大にもいけないよ」。僕、理系選択ですが：と思いつつ、残りの高校生活は4時間睡眠15時間勉強で、何とか理科大理学部に合格しました。野球の時間がそのまま勉強に、甲子園が一日で考えた志望校に成つただけの半年間は今でも思い出すのが苦痛です。

ただ、必死に生きた高校生活で、無意識に培われた力を感じます。忍耐力、愛嬌、怒られた時の反省顔、机で快眠する寝方等。未來のない努力が、知らぬ間に自身の多面的な価値を形成したように思えます。さて僕は東大で博士号取得後、研究者の道を歩んでいます。転機は19歳の夏、インドネシアでのボランティアの経験です。日本との歴然とした格差に大きな衝撃を受けました。そして途上国発展に貢献する方法を模索した末に、固体物理に行き着き、自分の人生を研究に使うと決心しました。世の中を変えるような発見には未だ至っておりませんが、夢に物理に日々挑んでいます。

最後に飯塚親弘先生、津脇義明先生をはじめとする僕の高校生活を彩つて下さった全ての方々に、この場を借りて心より感謝申し上げます。

追記 本題目はBEGINの曲「涙そうそう」に想起されたものです。要は、もう会うことのない大切な人へ感謝と幸福を祈るという趣旨でした。亡くなつた家族や友人、昔の恋人、そして過去の自分。思う事は山ほどあっても、今我々にできる事は祈りを捧げることくらいしかない。しかし、自己完結で終わってしまいます。う行為でも、曲や文字を通して、今までの人生を詠じたり、交換した図書館情報学は、文理融合の学際領域の学問であり、私の性格や興味関心にとも合っていたと思います。一九九五年度卒の私たちの学年は、入試を控えた頃にウインドウズ95が発売されます。一九九五年度卒の私たちの学年は、入試を控えた頃に

母校と私の人生



高48回
岡野 裕行

本の魅力、読書の楽しさ、図書館の意義を語り合うための場をつくる

後、研究者の道を歩んでいます。転機は19歳の夏、インドネシアでのボランティアの経験です。日本との歴然とした格差に大きな衝撃を受けました。そして途上国発展に貢献する方法を模索した末に、固体物理に行き着き、自分の人生を研究に使うと決心しました。世の中を変えるような発見には未だ至っておりませんが、夢に物理に日々挑んでいます。

なつたのですが、それは図書館という社会的装置が大きく変わったのです。現在は三重県伊勢市にある皇學館大学の教員として、主に図書館司書課程の科目を担当しています。本務としての学生指導のほかに、学外活動の機会も増えてきました。特に「本の魅力」「読書の楽しさ」「図書館の意義」などについて、各々に言語化してもらう

仕組みを構築することに図書館情報学のおもしろさがあります。ここ数年のなかで私が関わってきた全国的な活動に、ビブリオバトルとライブラリー・オブ・ザ・イヤーがあります。「本を通して人を知る／人を通して本を知る」というキャッチコピーのもとに全国各地に広まつたビブリオバトルは、現在では小中高等学校の国語の教科書にも掲載されるようになりました。

私は二〇一五年から二〇二二年までの六年間にわたり、ビブリオバトル普及委員会の代表理事を務め、その普及活動に関わってきました。また、「良い図書館を良いと言ふ」という理念のもとに、その年でもっともすぐれた図書館的活動を表彰するライブラリー・オブ・ザ・イヤーについては、二〇二一年から現在まで選考委員長のお役目をいただいています。そのほかにも、二〇一五年から伊勢河崎一箱古本市というイベントを主催しており、指導している学生たちとともに、地域の人たちの交流を促すための仕組みづくりを続けています。いずれもボランティアとして活動に関わっていますが、みんなひとりに見合った学びの

なの考える「おもしろい本」「楽しい読書」「良い図書館」について、各々の主観的な言葉で語り合うための場をつくり上げることはとても楽しい取り組みだと感じています。インド生まれの図書館学者のランガナタン(一八九二～一九七二年)は、「図書館は成長する有機体である」という言葉を遺しています。まるで生き物のようにその姿形が変わり続ける図書館の未来の姿を想像しながら、私たちの言葉を語り遺していくための仕事にこれからも邁進していきたいと思います。

(皇學館大學文學部國文學科
准教授)

トピック①

北澤茂夫氏
神宮美術館に招待出品

今春、伊勢の神宮美術館にて開催された特別展「夢一歌会始御題によせてー」(4月24日～5月27日)に高29回の北澤茂夫氏(横浜美術大学名誉教授)の作品が展示されました。そこで、龍ヶ崎市内の北澤氏のアトリエを訪問し、特別展のことやその他いろいろとお話を伺いました。

「この作品のように、画面に登場する夢想する人には、読書と映画に夢中だった少年期の私が投影されています。」

★展示作品「夢想の時」
「今回の選出は大変光栄なことで、大学退職後の一つの節目となつたようにも思いました。」

例として、皇室の歌会始の御題によせた特別展が開催されます。今回の御題は「夢」でした。現代美術家の作品33点が展示され、その一つに北澤茂夫氏の作品「夢想の時」が選出されたわけです。

私は、芸術作品とは、現実世界から離れる時間を与え、新たな活力と生きる力を生み出すものだと考えているのです

「もともと絵が好きだったのですが、高一の時に友人に刺され油絵を描き始めました。最初は技法書などを見ながら手探りで描いていました。その後、様々な指導者からのアドバイスも受け、自分の思いやイメージを表現することのできる絵画にとても魅力を感じて、筑波大学芸術専門学群、さらに同大学院に進学しました」



【夢想の時】
2018年第72回二紀展出品

★神宮美術館特別展

神宮美術館では、毎年の嘉

2025年神宮美術館出品

「この第二アトリエギヤラリー」と個展を開催する予定です」

私は、芸術作品とは、現実世界から離れる時間を与え、新たな活力と生きる力を生み出すものだと考えているのです

「横浜美術大学退任記念 北澤茂夫 幻視と夢想のイマージュ」を開催しました。

恒例の活動としては、「二紀

展」「茨城現代作家美術展」「茨城県展」「うしく現代美術展」出品などがあります。

「これからは龍ヶ崎市在住の画家として、東京などで地元での活動にも力を入れようと思っています。現在は自宅アトリエの他に砂町の倉庫兼第二アトリエで、制作や展覧会活動を続けながらも、

地元での活動にも力を入れようと思っています。現在は自宅アトリエの他に砂町の倉庫兼第二アトリエで、制作や展覧会活動を続けながらも、

感覚で、筑波大学芸術専門学群、さらに同大学院に進学しました」

卒業後は福島県のいわき短期大学に23年間勤務、その間には文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリの国立高等美術学校で一年間絵画技法を研究しました。

2006年からは横浜美術短期大学、2010年から横浜美術大学であわせて17年間勤務し、絵画の専門教育と大学運営や学生支援に取り組みながら作品制作や研究に没頭しました。

2023、24年、退職を記念して横浜市民ギャラリー



【定められた時】
1987年第51回二紀展出品
(筑波大学蔵)

★竜一高の後輩に向けて

「私は小学校の時に2年間の入院生活を経験しました。そのため、普通あまり経験しないようなことを経験しています。いわば負の経験でします。しかしそのことが私の

芸術への関心をもたらし、幻

想的な絵画表現を生み出すこ

とにつながりました」

「後輩の皆さんに伝えたいことは、若い時の経験に無駄なものはないということです。」

「どのような経験も本人の意識の持ち方によってプラスに変えられる、と思っています。」

特に、若さには変化に対応する柔軟性と可塑性があるからです。そして、自分がやりたいことを見つけ、それを継続して追求してください。よく

言われることですが『継続は力なり』です

「もう一つは、読書により視野を広げることの大切さです。困難なときは誰にでもあります。そうした時に、読書によって多くの擬似的人生や思考を経験することは、霧の中から光を見出すための手掛かりになります。是非若い時にたくさん本を読んでください」

球選手権茨城大会にて、全6



関口一行氏の講演会

トピック②

(文責 川口 浩巳)

『主な受賞歴等』
昭和56年第35回二紀展に《考察・私
の存在》(B)で初入選。以後二回
浅井忠記念賞展、4年第10回伯
代美術展で安田火災美術財団奨励
賞。10年第4回春季二紀展で東京セ
ントラル美術館賞。第69回二紀展
春季二紀展で東京セントラル美術
館優賞。第69回二紀展宮本回春季
賞受賞。



(2025年6月)自宅アトリエにて

試合54イニングス(回)連続
無失点記録を樹立して優勝、
甲子園出場を果たした関口一
行(高28回)氏が、10月26日
の稻敷市合併20周年記念特
別展講演会にて「夢の軌跡」
と題して「スポーツを通じての出会いと
学び」をテーマに講演を行
いました。



関口氏は稻敷市に生まれ、幼い頃日本中の多くの男の子が夢中になつたアニメの『巨人の星』にとても影響を受けたといいます。そして、甲子園に出るという大きな目標を常に忘れることなくその目標達成のために、菅原進野球部監督宅に下宿しながら高校生生活を送っていたそうです。

この講演では、高校、大学、社会人での野球の経験、そしてプロサッカー界での経験を中心にして、特に高校時代に培った経験について語りました。

(文責 倉持 正男)
※関口一行氏から同窓生への
皆様にメッセージを頂戴しま
したので、掲載します。

稻敷市市制施行20周年記念特別展・講演会を終えて

小さい頃からの夢であつた、甲子園という憧れの舞台に立ちたい一心で、本格的に野球に打ち込んだ高校時代でした。現在とは大きく違う環境の中でも野球に取り組んでいましたが、何が自分の心と体を交えながらお話しになりました。

講演会の最後には、当時の社会人での野球の経験、そしてプロサッカー界での経験を中心にして、特に高校時代に培った経験について語りました。

(文責 倉持 正男)
※関口一行氏から同窓生への
皆様にメッセージを頂戴しま
したので、掲載します。



野球部マネジャー川尻一枝様
から花束の贈呈がありまし
た。

動かしていたのかを振り返
と、根底にあつたのは、「結
果を出すためには厳しい鍛錬
をするのは当たり前」という
意識だったと思います。投手
としての練習は勿論のこと、
打撃、守備、走塁練習など、
全ての練習において、勝つた
めにはどうすれば良いかを常
に意識し、試合と同じような
緊張感の中で取り組んでいた
と記憶しています。当時は、
投手を中心とした守りの野球
が主流で、竜ヶ崎一高も伝統
的にそういう戦いを積み重ね
っていました。入学当初か
ら、恩師である菅原監督、持
丸先生をはじめ、OBの方々
などから、チームにおける投
手の重要性を指導頂き、その
ことが高い志を醸成し、そし
て結果に繋がったのだと思つ
ています。この高校時代に培
われた「厳しい鍛錬は当たり
前」、そして「投手を中心と
した守りの野球」という考
え方は、その後の大学時代、社
会人時代と続く、私の野球人
生のベースになつてきました。
は言うまでもありません。良
き指導者、良き仲間に恵まれ
て、達成できた甲子園への出
場と無失点記録ですが、野球
だけに限らず、これまでの人
生の大好きな支えになつてきま
した。

それを再認識することが出来
ました。稻敷市、竜ヶ崎一高
をはじめ、関係者の皆様に心
より感謝を申し上げますと共に
に、特別展、講演会へご来場
頂いた皆様に、深く御礼を申
し上げます。

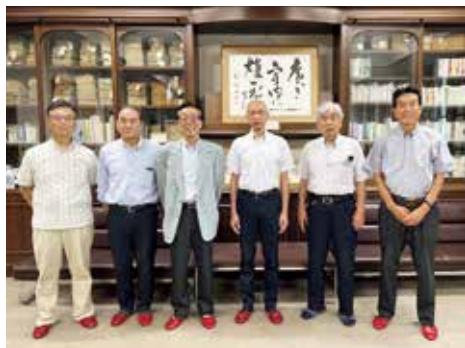
関口 一行

浦和高校視察報告

トピック③



7月15日の午後、埼玉県立浦和高校の同窓会館を関口会長外3名が訪問しました。



びに公益財団法人として様々な同窓会活動を実践しています。麗和会は長い歴史と伝統があるばかりでなく、未来を展望した先進的な同窓会組織として、他に類を見ない輝かしい実績をあげ続けています。

現在白幡同窓会が抱えているいくつかの課題について、その活動実践から何か得られるものがあるのではないかと勤めています。

いう思いに駆られて浦和高校同窓会を、関口会長、有川副会長、櫻井副校幹事長と倉持事務局代表が訪問しました。私達のために貴重な時間を割いてくれたのは、香田寛美副会長、篠田雅彦事務局長、藤野龍宏事務局次長のお三方でした。篠田様と藤野様は常勤扱いということでした。

任意団体としてではなく、法人として白幡同窓会を組織運営できるかどうかを検討するのが主な訪問目的でしたが、現状での法人化の方向性はどうしても難しいと判断しました。今後も白幡同窓会のより良い在り方等について、さまざまな視点からねばり強く検討を重ねていきますので引き続きご支援をよろしくお願いします。

(文責 倉持 正男)

主にお伺いしたことは次のような内容です。

- ① 浦和高校同窓会法人化のメリットとデメリットについて
- ② 一般社団法人浦和高校同窓会の定款について
- ③ 代議員(社員)の選出について
- ④ 年会費(白幡同窓会では協力金に相当)の納付状況について
- ⑤ 法人解散の条件等について
- ⑥ 稽留財団の目的および運営について

詳細についてはここでは触れませんが、現在多くの同窓会が直面している④の年会費の納入率の低下については、麗和会も例外ではないということでした。



高27回
倉持 正男

会報「白幡」が、「同窓会のチカラ」に紹介されました



同窓会のための情報誌「同窓会のチカラ」2025年号(No.17)(編集・発行 株式会社サラト)に白幡同窓会報の取り組みが紹介されました。ここに転載します。

トピック④

た。そこで会員との双向コミュニケーションを促進し、同窓会報への関心を高め、ひいては同窓会活動の活性化に繋げたいという思いから、この企画をスタートさせたという

う。本誌は企画の立案から運営までの中心人物である同窓会副会長の倉持正男氏(高校27回)に伺つた。

会員会長の倉持正男氏(高校27回)に伺つた。

読者プレゼント誕生秘話

双方向コミュニケーションへの模索

読者プレゼント企画は、数年前に同窓会役員会で発案されたものだ。会報をより魅力的なものにし、会員との繋がりを強化したいという思いから、一方通行になりがちな情報発信のあり方を見直す動きが出てきたのがきっかけだった。

当初は、記事の内容に関連したクロスワードパズルなどを掲載し、解答者を対象にプレゼント企画を行う案を検討した。しかし、クロスワードパズルでは特定の会員層にしか響かない可能性があること、記事の内容に合わせたクイズ作成の難しさなどから、この企画は実現には至らなかつた。

その後、試行錯誤を重ねる中で、同窓生が制作・提供した作品などをプレゼントする

という現在の形に落ち着いた。同窓生の作品をプレゼントすることで、会員同士の繋がりを深め、同窓会報への関心を高める効果も期待できると考えた。

第1回読者プレゼント

野球部監督のサイン本

2022年発行の第34号で

実施した第1回読者プレゼントでは、野球部監督のサイン本をプレゼントした。応募方

のみとし、応募状況や会員情報の集約を効率化するとともに、ホームページの活用促進も狙つた。

初回の応募数は23件と少なかったものの、新たな試みへの手応えを感じた。当選者決定は、役員会での厳正な抽選によって行った。

第2回読者プレゼント

ティーポット&写真集

続く第2回読者プレゼント

では、私の同級生である陶芸家によるティーポットとティーカップのセット、そして「牛久沼」をテーマとした写真集(卒業生の写真家が製作)をプレゼントした。

総会出席者への記念品として「オリジナル校章入り湯呑」を制作しており、受け取った卒業生からも大変好評で、欲しいという声が多数寄せられたことから、別の作品を読者プレゼントとすることに決めた。



活性化に向けて取り組む大きな励みになっている。

特に、応募の際に寄せられるコメントは、会員の生の声として貴重な情報源になつてゐる。「卒業生による牛久沼の写真集があつたとは知らなかつた」「こういう企画を待つていた」といった感想は、今後の会報作りに活かしていくたいと考えている。

写真集は、同窓会報の記事で紹介した卒業生（写真家）の作品だ。同窓会報との連動を図り、記事で紹介された人物や作品にスポットライトを当てるなどで、会報全体への関心を高める狙いがあつた。

苦勞と喜び

会報活性化への挑戦
読者プレゼント企画は、プレゼントする品の選定や応募方法、抽選方法など、様々な面で試行錯誤が続いている。苦労もある一方、会員から寄せられる「ぜひ欲しい」「興味深い」といった声は、会報

同窓会報の未来 双方向コミュニケーションを目指して

同窓会報は、「同窓会と会員を繋ぐ大きな絆」だと考えている。会員にとって価値のある情報はもちろん、読みやすさや魅力的なコンテンツも重要だと考えており、読者プレゼント企画はその一環として位置づけている。



今後は、読者プレゼント企画を継続していくとともに、会員の反応を見ながら内容をブラッシュアップしていく予定だ。双向コミュニケーションを促進するための新たな仕掛け作りにも意欲的で、同窓会報を通して会員の心をつかむ活動を続けていきたいと考えている。

トピック⑤

農林水産部門で天皇杯を受賞した横田修一氏による講演会の開催

今年度の講演会は有限会社横田農場代表取締役横田修一氏（高46回卒）にお願いしました。

開催日 平成8年2月23日（月・祝）
主催 白幡同窓会
会場 大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）

昨今の米不足・高騰の中で、タイムリーな講演になると 思います。どうぞ皆様、足をお運びください。

で焼き餅屋を出店させていた だきました。40人近いOBO Gの卒業生が参加して、焼き餅1、100個を完売しました。

募集人数 100名
(事前申込み、先着順)
申込方法 QRコードまたはURLから申し込んでください。
電話による申し込みはお受けできません。

なお、売り上げ余剰金の

34,844円は生徒会に寄付をしました。



<https://forms.gle/Pmu3incYWX9M99k9>

白龍祭委員会

今年も焼き餅屋を出店

6月7日（土）、白龍祭が一般公開されました。天候にも恵まれ、多くの皆様にご来場いただきました中、今年も同窓会



白幡同窓会ホームページもご覧ください



トップページ

URL : <https://shirahata.sakura.ne.jp>

お問い合わせ



リレー連載への掲載についてのお知らせ

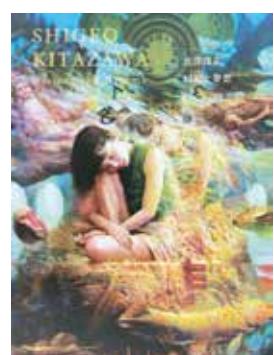
白幡同窓会ホームページの「リレー連載」への投稿を希望する方は下記のURL及びQRコードで掲載希望連絡フォームを開き、原稿の掲載希望を申し出ることができます。



<https://forms.gle/VuWw2Kf69aSJT9ff8>

これまでの「リレー連載」に目を通したうえで、掲載希望連絡フォームを開き、フォームに記載されている説明をお読みください。

③北澤茂夫氏の画集を3名に贈呈
高29回卒の北澤茂夫氏から
同窓会に、画集「幻視と夢想」
の3冊が提供されました。この
画集は現在アマゾンでも販
売されているものです。
希望する方は、画集「幻視
と夢想」を選択して同窓会H
Pからご応募ください。抽選
により3名に贈呈いたします。
読者プレゼント②
岡田清一氏の著作3点をそれ
ぞれ1名に贈呈
高17回卒の岡田清一氏（東
北福祉大学名誉教授）から同
窓会に読者プレゼント品とし
て次の3点の著作の提供があ
りました。
①鎌倉殿と執権北条
史
②相馬一族の中世
③北条義時



高29回卒の北澤茂夫氏から
同窓会に、画集「幻視と夢想」
の3冊が提供されました。この
画集は現在アマゾンでも販
売されているものです。
希望する方は、画集「幻視
と夢想」を選択して同窓会H
Pからご応募ください。抽選
により3名に贈呈いたします。
読者プレゼント①
北澤茂夫氏の画集を3名に贈
呈
高29回卒の北澤茂夫氏から
同窓会に、画集「幻視と夢想」
の3冊が提供されました。この
画集は現在アマゾンでも販
売されているものです。
希望する方は、画集「幻視
と夢想」を選択して同窓会H
Pからご応募ください。抽選
により3名に贈呈いたします。

希望する方は、希望する本
1点を選択して同窓会HPか
らご応募ください。抽選によ
りそれぞれの本を1名に贈呈
いたします。
読者プレゼントの応募方法
左のQRコードまたは、令
和8年2月28日(土)までに、
白幡同窓会HPから申し込ん
でください。
プレゼントの発送は令和8
年4月上旬を予定しています。



<https://forms.gle/T9Ty8fQKpChDcdA96>

進路狀況

令和7年度大学入試 合格者数 (4月9日 判明分)

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 進路指導部

| 私立大学 | 新卒 | 既卒 |
|--------|----|----|
| 流通経済 | 4 | |
| 国際医療福祉 | 2 | |
| 獨協 | 14 | 1 |
| 日本工業 | | 1 |
| 文教 | 14 | 1 |
| 文京学院 | 1 | |
| 日本薬科 | 2 | 1 |
| 江戸川 | 1 | |
| 神田外語 | 2 | |
| 淑徳 | 1 | |
| 千葉工業 | 40 | |
| 中央学院 | 1 | |
| 秀明 | 1 | |
| 麗澤 | 6 | |
| 和洋女子 | 1 | |
| 千葉科学 | 1 | |
| 東京医療保健 | 6 | |
| 青山学院 | 16 | 1 |
| 桜美林 | 5 | |
| 学習院 | 8 | 2 |
| 北里 | 5 | |
| 共立女子 | 3 | |
| 慶應義塾 | 3 | 3 |
| 工学院 | 4 | |
| 國學院 | 10 | 1 |
| 国際基督教 | 1 | |
| 国士館 | 8 | |
| 駒澤 | 27 | |
| 実践女子 | 1 | |
| 芝浦工業 | 17 | |
| 順天堂 | 5 | |
| 上智 | 2 | 2 |
| 昭和医科 | 1 | |
| 昭和女子 | 1 | |
| 女子栄養 | 1 | |
| 成蹊 | 3 | 1 |
| 成城 | 2 | 1 |
| 専修 | 13 | |
| 大東文化 | 13 | |
| 玉川 | 1 | |
| 多摩美術 | 1 | 1 |

(私立大学は合格延べ数)

| 大学校 | 新卒 | 既卒 |
|-------|----|----|
| 水産大学校 | | |
| | | |
| | | |
| 大学校 計 | | 0 |



卒業生が在籍する年となりました。附属中生は、自分のグッズモデルである先輩達を見て、自分の未来を想像することができるという、大変恵まれた環境で生活しています。

六月には、白龍祭がありました。高校生と同じように飲食したりイベントに参加したりして、大いに楽しむことができました。また、クラス企画は、三学年とも「お化け屋敷」でしたが、どの学年も個性を發揮し、協力し合つて運営することができました。

附属中学校



九月の飛龍祭では、学年だけでなく中高の壁もなくし、六つの連合チームで活動しました。中1から高3まで同じチームメイトとして競技に参加したり応援したりしている姿は、まさに中高一貫教育の良さを体现していました。

パフォーマンスでは、中学生全員で息の合ったダンスを披露し、附属中初のパフォーマンス賞を受賞しました。



例え、「市中心部の空洞化」をテーマに活動している班は、主に若者をターゲット層としたマーケティングを計画し、商店街店舗「まんこロッケ」の商品「おさつコロッケ」を用いたデザインメニューを考えました。試食会やアンケート等を通してトメニューを重ね、販売を目指しています。

本校は、社会課題を解決するイノベーターを育てるため探究に力を入れています。中学生も高校生と同様に、実際に地域に繰り出し、本物の課題を見つけ、その解決に向けて活動しています。

社会課題の解決に向けて

また「伝統と文化」をテーマに活動しているある班は、竹灯籠アートで町を元気にしました。

ようとしている方に取材し、竹灯籠製作のボランティアにも参加しました。

校外での活躍



△龍ヶ崎市総合体育大会

- 女子ソフトテニス 個人 小野・中澤 3位
- 佐久間・小山 8位

○女子ソフトテニス

2位

- 軟式野球 個人 佐久間・小山 3位
- 男子バレーボール 3位
- 男子バレー ボール 2位

○軟式野球

2位

- 水泳 ○水泳

○水泳

3位

- 200M平泳ぎ 新田 3位
- 200M平泳ぎ 新田 3位

○200M平泳ぎ

3位

- 女子ソフトテニス 個人 横山・関口 3位
- 女子ソフトテニス 個人 横山・関口 3位

○女子ソフトテニス

3位

- 柔道 男子50kg級 横尾 2位
- 柔道 男子50kg級 横尾 2位

○柔道

2位

- 水泳 200M背泳ぎ 斎藤 5位
- 水泳 200M背泳ぎ 斎藤 5位

○水泳

5位

- 国土交通省主催「全日本中学生水の作文コンクール」

○国土交通省主催「全日本中学生水の作文コンクール」

5位

- 科学の甲子園ジュニア茨城県大会

○科学の甲子園ジュニア茨城県大会

5位



部活動の主な成績

(令和7年4月～9月)

陸上競技部

今年の関東高校総体は、6月13日から16日まで栃木県宇都宮市にあるカンセキスタジアムで行われました。陸上競技部からは、男子四〇〇メートルで県総体において四位に入賞した宮本柊一郎（三C）と六位に入賞した長谷川廉（三E）の二名が出場しました。残念ながら、自己記録を更新や入賞とはなりませんでしたが、二人とも自分の力を出して最後の公式戦を走りました。

り抜けてくれました。どちらも高校から陸上競技を始めた選手で、実質二年間という短い練習期間の中で自分の才能を大いに開花させた選手です。これからは自分の進路実現に向かって全力を出してくことと期待しています。また、関東大会まで進めたのも、周りの方々の応援や支援があつたからこそだと思っております。これからもOB、OG、保護者の方々のご指導をお願いいたします。

（顧問 本田 歩）

射撃部

今年度の関東大会（6月・神奈川県伊勢原市）では、玉山聰人（3年）がビームライフル男子5位を獲得した。全国高校選手権大会（8月・広島県安芸太田町）では、玉山があと0・2点で入賞というところまで健闘した。ここ2、3年で関東・全国大会のレベルも上がっているが、本校も高校生だけではなく、中学生も積極的に活動しており、中・高の部員同士が切磋琢磨している。来年度は関東・全国大会においてさらに上位入賞できるよう、生徒とともに精進していきたい。



最後になりますが、射撃部がこのように活動できるのは同窓会の皆様のご支援の賜物です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

（顧問 小野 雅央）

棋道部

六月四日に水戸で行われた全国高等学校将棋竜王戦茨城県代表決定戦で、一年の鬼澤陸が優勝し、八月二十日、二十一日に福岡で行われた全国高等学校将棋竜王戦への出場を果たした。残念ながら予選突破を果たせなかつたが、強豪との対局やプロ棋士との



今回の大会出場に際し、白幡同窓会から多大なるご支援を賜り、ありがとうございました。また、八月三日には、白幡棋道会（棋道部OB）と棋道部との合同練習会を開催することができ、部全体のレベルアップができたことも大変ありがとうございました。今後とも大変ありがとうございます。それでも挑戦する道を選ぶ生徒もあります。その選択は決して楽なものではありません。それでも挑戦する姿に、周囲は勇気をもらいます。また、対面式、白龍祭、県立水戸南高校の通信教育を併修しながら3年間で卒業する道を選ぶ生徒もあります。その選択は決して楽なものではありません。それでも挑戦する姿に、周囲は勇気をもらいます。また、対面式、白龍祭、

（顧問 坂本 伸吾）

定時制より

定時制課程は、4年間で歩む学びの道。今年4月、11名

指導対局が、本人にとつては良い経験となつたことであろう。

夕刻、定時制の生徒が登校し、一日の学びが始まります。最初に迎えるのは、給食室での温かな夕食。栄養士が細やかに心を配り、調理員が真心を込めて作った食事は、彼らにとつて力を与えてくれる希望の一皿です。その後は夜の教室での授業。全日制と共用の教室で懸命に学びます。教職員は、一人ひとりの生徒の心に寄り添いながら、明日に向かう力を育んでいます。「三修制」を利用して、2年次から県立水戸南高校の通信教育を併修しながら3年間で卒業する道を選ぶ生徒もあります。そ

の道筋を描いていきます。行事を通して、生徒は互いに協力し合いながら、それぞれの道筋を描いていきます。夜の校舎に灯る教室の明かりの中、真剣に学ぶ生徒達。その学びを支え続ける教

職員。そして皆様からのご支援を力に、それぞれの明日への確かな一步を、これからも歩み続けてまいります。

(定時制教頭)
高山 雅子



同志会会員名簿の発行

生並ては現職員の皆様にはご理解とご支援を賜りましたこと心から感謝申し上げます。

令和7年版「白幡同窓会会員名簿」が発行されました。名簿の発行にあたり、同窓

なお、住所変更等の情報につきましては、同窓会HP、または同窓会メールアドレスまでお寄せくださいますようお願い申し上げます。

同窓会名簿の扱いには個人情報保護の観点により、細心の注意を払つてまいります。

高47回 中川 彩（中島 遷生）

※ いろは坂の桜については、多くの関係者の皆様のご協力の下、詳しい調査を行いましたので、今後同窓会HPでご報告する予定です。

「ありがとう」と書いたマスクをつけて足を運ぶ……。いろは坂の桜は二〇一三年の暮れに、数本の若木を残して伐採されたそうです。私も「ありがとうございます」を言う時間がほしかったな。そんな気持ちをこめて描きました。

表紙絵作者コメント

表紙絵作者コメント

高47回 中川 彩
(中島 遷生)

今回、表紙絵のお声掛けをいただいて、こんなふうにお役に立てるのかどうれしく思いました。

海外に住んでいたときに突然コロナが始まつてそのまま何年も帰れなくなり、ようや

「ありがとう」と書いたマスクをつけて足を運ぶ……。いろは坂の桜は二〇一三年の暮れに、数本の若木を残して伐採されたそうです。私も「ありがとうございました」を言う時間がほしかったな。そんな気持ちをこめて描きました。

寄付金に感謝

会議後は、今年9月に全面的にリノベーションした特別棟を松延亮一教頭に案内してもらいました。その後、午後の授業を参観しました。

会議の詳細については、同窓会HPで報告していますのでぜひご覧ください

これが抱える課題を確認すると同時に、課題解決に向けた方向性を共有することができたのではないかと思います。

学校からは、太田垣淳一校長外4名、同窓会からは関口広行会長外2名が参加しました。

企画し、学校の全面協力の下で令和7年11月27日にその会を実施しました。

同窓会活動等について直接説明したり、学校の教育方針等について学校現場でその詳細を伺うことは、これまで以上に五理解を深め、そい

学校と同窓会との意見交換会を実施

今回初めて表紙に装画を採用しました。写真とは異なる象徴性があり、いろいろな思いを抱いている同窓生にとつては、あらためて母校を振り返るよい機会になつたのではないか。どうか。

第三回目の恩師は竜一高では初めての女性管理職になつた松本君代先生です。

回は5つの同窓会(11回、17回、26回、28回、30回)が開催されました。

母校の想い出
来年の同窓会総会への招待
学年(19回、29回、44回、59
回、69回)の卒業生に寄稿し

トピック等

たら幸いです。
会報編集委員
倉持 正男（高27回）

岩崎磯山霜村有川口篠塚倉持
卓士佳裕通保造己文男正勇
(高37) (高34) (高33) (高33) (高29) (高28) (高27)
(回) (回) (回) (回) (回) (回) (回)